



成果指標				
成果指標	交通安全リーフレット、新入生交通安全用品配布、交通安全県民大会参加者の実数			
指標設定の考え方	交通安全思想の普及の度合いとして、啓発に係る実数を測定する。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	2000	1480	1500	0
実績	1987	1325	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>保育所・幼稚園・小中学校への交通安全グッズ配布、街頭指導等により、その世代の子どもたちには交通ルール遵守及び交通安全意識高揚につながっていると思われる。</p> <p>今後は、高校生や一般の方への自転車利用者に対する正しい交通ルールの指導、また、高齢者免許証自主返納制度の広報啓発活動を積極的に行っていく必要がある。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>入学時にグッズ等の配布を行うことで交通安全の啓発にも繋がると考える。交通安全は個々の意識によるところが大きく、今後も事業を継続し交通安全意識の普及・啓発を図る必要がある。各地区安全協会の助成についても活動内容を把握し適切な支援を図る必要がある。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題